

薩摩川内市国土強靱化地域計画改定(素案)に係るパブリックコメントの結果

- 1 実施期間
令和7年6月13日(金) ~ 令和7年7月11日(金)
- 2 受付人数
3名(5件)
- 3 意見の概要及び市の考え方
別紙のとおり
- 4 備 考
 - ・ ご意見については、受付順に掲載しています。
 - ・ 複数のご意見を提出している場合があるため、受付人数と意見数は一致しません。
 - ・ ご意見について、公表することにより権利又は利益を害するおそれがあるものなど、一部非公表等に行っているものがあります。

「薩摩川内市国土強靱化地域計画改定(素案)」に係るパブリックコメントを実施したところ、ご意見を賜り誠にありがとうございました。

いただいた貴重なご意見については、庁内で分析を行い、「薩摩川内市国土強靱化地域計画」に反映するなど、整理・検討を行います。

「薩摩川内市国土強靱化地域計画」が、防災・減災対策の取組を念頭に、国土強靱化基本計画や鹿児島県地域強靱化計画との調和を図りながら、本市の強靱化に関する施策を推進するものとなるよう磨き上げてまいります。

No.	対象箇所							①ご意見の内容	②ご意見に対する市の考え方		担当部・課室
	章	節	項	号	(第4～6章) リスク シナリオ	(第4～6章) 【 リスクシナリオ 】 リスクシナリオごとの推進方針	頁		方向性	詳細	
1	2	3	1	(5)	—	—	6	医師会関連で、DMA Tの記載はあるのですが、これは超急性期の短期的なものです。実際、災害時には、県医師会からの災害コーディネーターが入り、医師会としてはJMA Tとして全国規模での支援を行う形となります。参照(災害医療情報 公益社団法人 鹿児島県医師会)です。JMA Tについての記載は欲しいですし、災害時に協力・駆けつけてくださる組織は多数あり、有事にドタバタしないで済むような準備は必要と思います。	ご意見を踏まえた内容更新	いただいたご意見のとおり、救助活動体制については、災害派遣医療チーム(DMA T)のほか、災害発生後の期間・段階等に応じて、JMA Tや多様な支援が考えられるところです。ご意見を踏まえ、計画上は、「災害派遣医療チーム(DMA T)等」とし、多様な支援体制について幅広く読むことができる表記で整理したいと考えます。	保健福祉部 市民健康課 消防局 消防総務課
	4	2	—	—	1-2⑤	救助活動能力(体制、装備資機材)の充実向上	20				
	5	1	—	—	1-2⑤		55				
2	3	1	4	—	—	—	11	「4 人口」の項に記載の人口について、令和7年の改定であるのに、令和2年の人口を記載することによいか。	素案のとおり	人口の情報については、国勢調査をベースに年齢別に記載しているところであり、本計画策定時に最新の情報である、令和2年の国勢調査の数値を採用しています。	未来政策部 企画政策課
3	5	1	—	—	2-3⑬	福祉避難所の確保及びその運営体制の支援	68	一般的な避難所では生活が困難な要配慮者等を受け入れる施設となる福祉避難所の確保とその運営体制を支援する。 ↓ 一般的な避難所では生活が困難な要配慮者等を受け入れる施設となる福祉避難所の確保とその運営体制並びに必要な資機材の整備や施設設備の充実に努める。 と記載してはどうか。	ご意見を踏まえた内容更新	いただいたご意見を踏まえ、「一般的な避難所では生活が困難な要配慮者等を受け入れる施設となる福祉避難所の確保とその運営体制並びに必要な資機材の整備や施設設備の充実にに向けた支援を行う。」としたいと考えます。	保健福祉部 社会福祉課
4	5	1	—	—	6-2②	ボランティア活動の支援体制の強化	84	避難生活支援として、災害関連死の防止、避難生活環境の向上を図るため、避難生活支援における地域のボランティア人材を育成する研修の実施や当該人材と地域・避難所との調整を図る仕組みの構築を検討する。 ↓ 避難生活支援として、災害関連死の防止、避難生活環境の向上を図るため、避難生活支援における地域のボランティア人材を育成する研修の実施や当該人材と地域・避難所との調整を図る仕組みの構築を検討する。 また、社会福祉協議会が所管する災害ボランティアセンターの運営を支援し復興を支える人材を確保に努める。 と記載してはどうか。	ご意見を踏まえた内容更新	いただいたご意見を踏まえ、「避難生活支援として、災害関連死の防止、避難生活環境の向上を図るため、避難生活支援における地域のボランティア人材を育成する研修の実施や当該人材と地域・避難所との調整を図る仕組みの構築を検討する。また、社会福祉協議会が所管する災害ボランティアセンターの運営を支援し復興を支える人材確保についても支援する。」としたいと考えます。	保健福祉部 社会福祉課
5	6	—	—	—	〔ご意見〕 2-3 〔整理〕 2-2	〔ご意見〕 【劣悪な避難生活環境等、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生】 〔整理〕 【医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺】	98・99	事業名：地域を支える〃マルチ医療DX〃 事業概要：地域を支える〃マルチ医療DX〃 かごネット 薩摩川内市の医療情報連携ネットワークについて、リスクシナリオを回避するために取り組む事業に該当するのでは、と思いました。 理由としましては、p33の2-3の項目⑥、⑫、⑬、それに対するp66～67の2-3の項目⑥、⑦、⑧、⑬に関連すると思ったためです。	ご意見を踏まえた内容更新	かごネットにおける患者情報は、病院等加盟医療機関での活用に限定されており、リスクシナリオを回避するため避難所運営を行う関係者において閲覧できる情報はないことから、2-3のリスクシナリオを回避するために「地域を支える〃マルチ医療DX〃」という事業を活用することは難しいと考えます。 一方、2-2のリスクシナリオを回避するために、2-2⑩における医療救護活動の体制整備においてこの事業を活用することは可能であると考えため、第6章の2-2において、本事業を追記するかたちで整理します。	保健福祉部 市民健康課 (関連) 行政管理部 スマートデジタル戦略室